



生命と健康を守る。

ディービエックス株式会社
株主通信 2024年3月期第2四半期報告書

2023年4月1日から2023年9月30日まで

証券コード3079



代表取締役社長

柴崎 浩

To Our Shareholders

 株主の皆様へ

事業環境の変化を踏まえて成長基盤の強化に努め、
長期的に安定した利益還元を目指してまいります。



当第2四半期累計期間の業績について総括をお願いします。
また、2024年3月期の業績予想についてもお話しください。



一部の主要な取引先施設の商流変更、エキシマレーザー
事業の総販売元としての取り扱い終了の影響を受け、前年
同期比で減収・減益となりました。

当第2四半期累計期間の売上高は226億3千2百万円

(前年同期比4.2%減)、営業利益は3億2千3百万円(同45.9%減)、経常利益は3億3千万円(同46.2%減)、四半期純利益は2億3千3百万円(同44.0%減)となりました。

Q 不整脈事業の市場の見通しと事業戦略についてお話しください。

A 一部の主要な取引先施設の商流変更がありましたが、新型コロナウイルス感染症の分類移行により症例数は回復傾向にあります。一方で、当期も粗利率の低下が見込まれることから、商圏の拡大に加えて高利益率商品の販売拡大、インセンティブ契約・一括買取り契約の拡大を推進してまいります。

Q 虚血事業の市場の見通しと事業戦略についてお話しください。

A エキシマレーザー事業の総販売元としての取り扱い終了の影響を受け減収・減益となりました。新たな総代理店事業の構築を進めるとともに、前期に本格的な販売を開始したRAQUOS事業(自社企画商品)の拡販に注力してまいります。

Q その他事業の市場の見通しや事業戦略についてお話しください。

A 新たに参入した診療科目は当社にとって伸びしろが大きく、TAVI(経カテーテル的大動脈弁置換術)関連が好調であるほか、脳・腹部領域の売上も拡大しています。単回使用医療機器SUDを回収して、再製造のうえ販売するR-SUD事業への取り組みも行っており、その他事業は今後も継続的な拡大を見込んでいます。

Q 中期経営計画のローリングについて教えてください。

A 当期5月15日に「中期経営計画のローリングに関するお知らせ」を開示しました。

現下の業績推移および競争環境の変化を踏まえ、財務数値の計画を見直したものです。中長期戦略の骨子に変更はなく、1.利益率、生産性向上、2.地域的依存度低減、3.強靱な事業ポートフォリオ、4.新たな成長基盤の強化(市場)、5.成長基盤の強化(組織)を掲げています。中期経営計画は当社の持続的成長のための羅針盤であり、策定した各施策を着実に実行することで企業価値を高めてまいります。

Q 株主の皆様へメッセージをお願いします。

A 当期9月14日に「株主還元方針(配当方針)の変更に
関するお知らせ」と「配当予想の修正に関するお知らせ」
を開示しました。

重要な経営課題の1つである株主還元にあたり、企業価値の持続的な向上による長期的に安定した利益還元を図る一方で、投資機会の可能性、財務状況、資本コストを踏まえた資本効率の向上、資金の最適な活用等を総合的に考慮して利益還元と内部留保のバランスを適切に判断することが必要であると考えています。

こうした認識のもと、株主の皆様に対する利益還元の充実を図るため、企業が株主資本に対して配当を支払う水準を示す指標であるDOE(株主資本配当率)を配当額の決定の方針に新たに採用することとしました。

【株主還元基本方針変更の内容】

(変更前)

当社は、今後の事業展開のために必要な内部留保資金を確保しつつ、株主に対して長期的な利益還元を行うことを基本方針としており、配当金については、継続的かつ安定的な配当による株主還元を行うことを基本として配当を決定する方針としております。

(変更後)

株主の皆様に対する利益還元を重要な経営課題として、企業価値および株式価値の向上を図ることで株主還元を継続的かつ安定的に強化する。配当については、DOE(株主資本配当率)5.0%以上を目途に配当額を決定する。

また、この新たな方針に基づき2024年3月期末の配当額を算定し、当期末配当の予想値を1株当たり30.0円から、1株当たり50.0円に修正しました。

【配当予想の修正の内容】

前回発表予想(2023年5月15日発表)

2024年3月期 年間配当金(期末)30.0円

今回修正予想(2023年9月14日発表)

2024年3月期 年間配当金(期末)50.0円

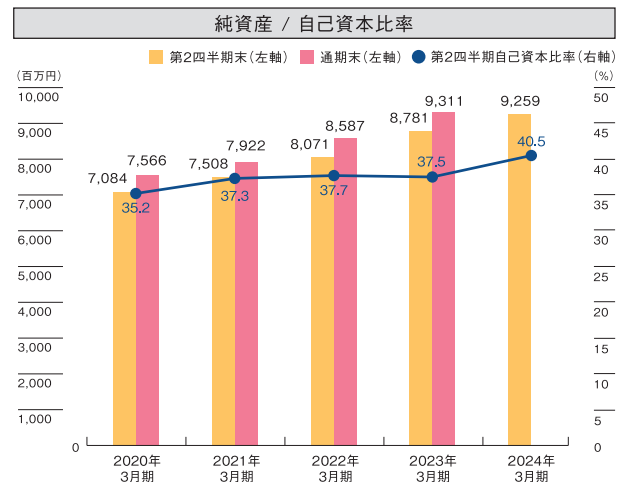
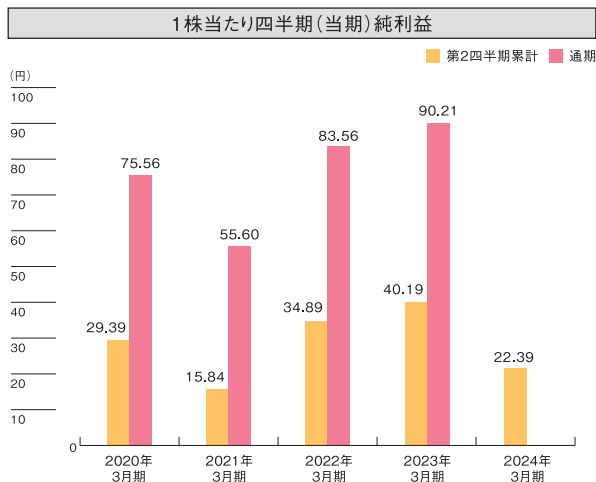
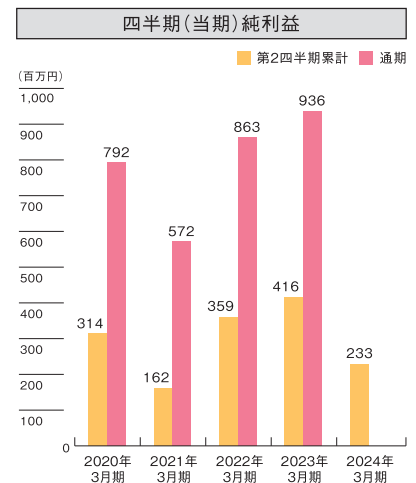
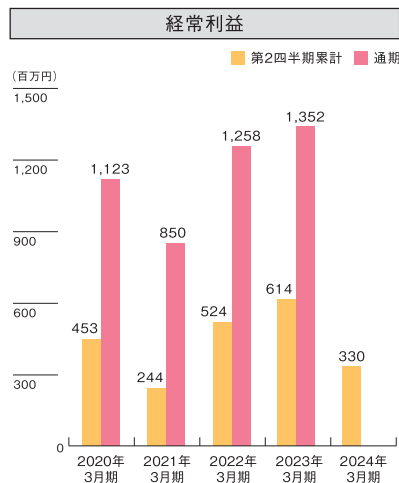
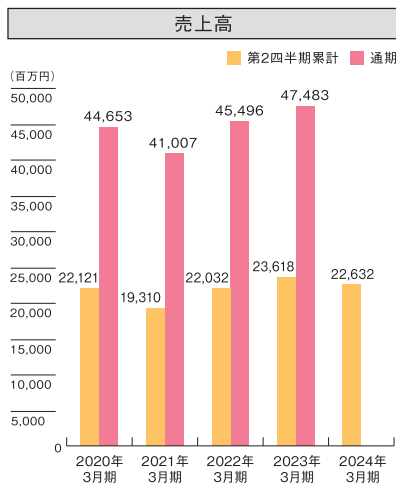
当社は「生命と健康を守る」企業として持続的な成長を図ってまいります。当社事業につきまして、引き続きのご理解とご支援をよろしくお願い申し上げます。

財務ハイライト (2023年4月1日～9月30日)

当第2四半期決算のポイント

一部の主要な取引先施設の商流変更の影響を受け、前年同期比で減収・減益となりました。

当第2四半期累計期間の売上高は226億3千2百万円(前年同期比4.2%減)、営業利益は3億2千3百万円(同45.9%減)、経常利益は3億3千万円(同46.2%減)、四半期純利益は2億3千3百万円(同44.0%減)となりました。



ポイントの解説

1 売上高

不整脈事業は、地域により新型コロナウイルス感染症による症例数減少の影響を受けたほか、一部の主要な取引先施設の商流変更の影響を受けました。虚血事業は、レーザー事業が減収となりました。その結果、当第2四半期累計期間における売上高は、前年同期比で4.2%減少し、226億3千2百万円となりました。

2 営業利益

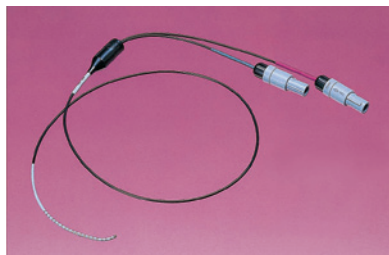
販売費及び一般管理費は一部に執行の遅れがあったことから前年同期比1.2%減少しましたが、売上総利益が同11.3%減少しました。その結果、営業利益は前年同期比45.9%減少し、3億2千3百万円となりました。

事業セグメントの状況

不整脈事業 Arrhythmia Business

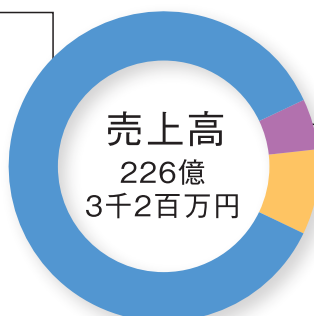
当第2四半期累計期間実績
売上高194億8千4百万円

一部取引先施設の商流変更による影響を受けた結果、売上高は19,484,583千円（前年同期比4.0%減）、セグメント利益は1,954,922千円（同12.8%減）となりました。



電極カテーテル

不整脈の診断や薬効評価に欠かせない心臓電気生理検査用カテーテルやアブレーション（焼灼）治療用カテーテルなどがあります。



事業セグメント別売上高構成分

不整脈事業	86.1%
虚血事業	5.1%
その他	8.8%

*「その他」においては、脳外科商品、一般外科商品、消化器商品、放射線防護用品などを販売しております。

虚血事業 Ischemia Business

当第2四半期累計期間実績
売上高11億5千7百万円

自動造影剤注入装置「RAQUOSインジェクションシステム」の販売は順調に推移しておりますが、前事業年度において総販売元としての取り扱いが終了したエキシマレーザー事業の減収を吸収するには至っておらず、売上高は1,157,372千円（前年同期比29.1%減）、セグメント利益は148,742千円（同21.2%減）となりました。



自動造影剤注入装置
「RAQUOSインジェクションシステム」

営業の概況

Operating Results

医療現場での課題解決に資する高度な専門性を活かした提案型営業による既存顧客の深耕と新規顧客の獲得を行うとともに、メーカーとの関係強化を通じて、仕入コストの低減にも取り組んでまいりましたが、一部取引先施設の商流変更による影響を受けました。その結果、当第2四半期累計期間の売上高は当初計画を若干下回りました。

2024年3月期（通期）の業績予想

Outlook

2023年5月15日公表の通期予想を据え置いております。

2023年5月15日公表の2024年3月期の業績予想に対し、当第2四半期累計期間における進捗率は売上高47.1%、営業利益40.9%、経常利益41.7%、当期純利益44.2%となっております。通期の業績予想につきましては、今後の業績動向を精査し、修正が必要と判断した場合は速やかに公表いたします。

2024年3月期の業績予想

（百万円）	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
2024年3月期	48,004	792	792	527
2023年3月期（実績）	47,483	1,340	1,352	936
増減率（%）	1.1	△40.9	△41.4	△43.6

当社に関する詳しい情報は、ホームページをご覧ください。

<https://www.dvx.jp/ir/index.html>

最新のIR情報を掲載しています。

DVx

検索

Front Line

注目される心房細動治療の新たな技術

心房細動とは

心臓はおよそ1秒に約1回のペースで拍動しています。不整脈はこのリズムが異常である状態を指し、脈が速くなる場合を頻脈性不整脈といいます。

頻脈性不整脈の中で最も多いのが「心房細動」で、心臓の拍動頻度が高まり、動悸、息切れ、めまいなどを自覚する場合があります。

「心房細動」は自然治癒が望めず、短期間で治まる発症性心房細動から持続性心房細動へ慢性的に進行する病気と考えられています。

放置すると脳梗塞や心不全になるおそれがあることから、自覚症状の有無にかかわらず治療が必要とされています。

加齢とともに増える病気で、高齢化にともない患者数の増加が予想されています。

心房細動の治療

心房細動の治療は一般的に「薬による治療」と「カテーテルアブレーションによる治療」が行われています。

カテーテルアブレーション治療は、細長い医療器具（カテーテル）を脚などの血管から心臓まで到達させ、心臓の筋肉の一部を焼灼することで心房細動の原因になる心筋の異常な電気信号を断ち切る治療方法です。

国内のアブレーション治療には大別して、カテーテルの先端を使って心筋を点状に加熱し治療する「カテーテルアブレーション」と、先端に風船状に膨らむ器具をつけたカテーテルを用いて、膨らませた風船を心筋に密着させ加熱あるいは冷凍し治療する「バルーンアブレーション」の2種類があります。

薬による治療が心房細動を抑える目的であるのに対して、カテーテルアブレーション治療は根本的な治療（根治術）を目的とするもので、患者数の増加と医療機器の進歩とともに症例数は年々増加傾向にあります。

注目される新たな技術「パルスフィールドアブレーション」

現在のアブレーションは高周波、冷凍凝固、レーザーなど熱伝導を用いていますが、近年、超高速電気パルスを用いた新しい非加熱での「パルスフィールドアブレーション」が開発され、欧米では臨床での使用がすでに始まっています。

「パルスフィールドアブレーション」は、電気パルスによる不可逆的エレクトロポレーションのメカニズムによって細胞死を引き起こすことで心筋を焼灼するもので、心筋細胞は他の細胞より電気パルスに対する耐性が低いことから、心臓の周囲にある他の臓器等を損傷することなく、心筋細胞のみを優先的かつ選択的に焼灼することができます。

数年後には日本への導入も見込まれています。導入されれば、これまでの技術革新と同様に、医療の進歩への大きな貢献が期待されます。

当社の企業理念

Purpose

パーパス（私たちの存在理由）

生命と健康を守る。

インフォメーション

会社の概要 (2023年9月30日現在)

商号	ディービエックス株式会社 (DVx Inc.)
設立	1986年4月1日(昭和61年4月1日)
資本金	344,457千円
本社所在地	東京都豊島区高田2-17-22 目白中野ビル5階
代表者	代表取締役社長 柴崎 浩
従業員数	312名
事業内容	医療用機器、関連周辺機器ならびに関連材料の輸出入 および製造、売買、修理、保守点検、賃貸、リース 医療用機器ならびに関連周辺機器の研究・開発 医療用システムの設計、売買および輸出入 医療用コンピューターの設計ならびに製造、売買 健康および医療に関する機器・器具の輸出入および製造、 売買、修理、保守点検、賃貸、リース 医薬品、医薬部外品、化粧品、健康食品、日用雑貨品、 介護用品および介護機器の輸出入および製造、売買、 修理、保守点検、賃貸、リース 医療および医療用機器全般のコンサルティング業務 ならびにサービスの内外提供 医療出版および市場調査を含む関連サービスの内外提供 古物の売買 その他付帯または関連する一切の事業および投資
営業所	北海道営業所 仙台営業所 茨城営業所 千葉営業所 群馬営業所 埼玉営業所 栃木営業所 東京第一営業所 東京第二営業所 東京第三営業所 八王子営業所 横浜第一営業所 横浜第二営業所 静岡営業所 沼津営業所 浜松営業所 名古屋営業所 近畿営業所 福井営業所 広島営業所 福山営業所 岡山営業所 九州営業所
出張所	山梨出張所 島根出張所 宮崎出張所 沖縄出張所
その他事業所	技術研究所 技術サービス課 物流センター

役員 (2023年9月30日現在)

代表取締役社長	柴崎 浩	取締役(社外)	堂垣内 重晴
取締役	波多野 剛	取締役監査等委員	宮川 猛
取締役	宮本 聡	取締役監査等委員(社外)	野島 透
取締役	鍋谷 正行	取締役監査等委員(社外)	田上 昭子
取締役	内田 好則		

大株主 (2023年9月30日現在)

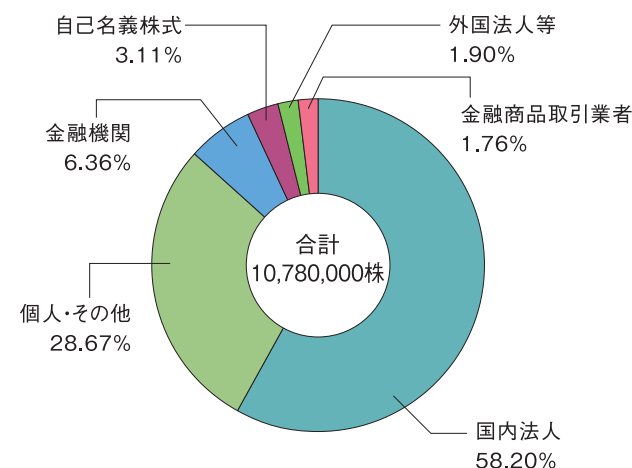
株主名	持株数	持株比率
株式会社MSS	3,479,600株	33.31%
株式会社UH PARTNERS 2	926,300株	8.86%
光通信株式会社	771,500株	7.38%
株式会社UH PARTNERS 3	522,400株	5.00%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	372,400株	3.56%
泉工医科工業株式会社	322,000株	3.08%
株式会社エスアイエル	160,600株	1.53%
宮川 元	136,000株	1.30%
戸田 幸子	134,400株	1.28%
ディービエックス社員持株会	132,300株	1.26%

(注) 持株比率は、自己株式(335,444株)を控除して計算しております。

株式の状況 (2023年9月30日現在)

発行可能株式総数	44,000,000株
発行済株式の総数	10,780,000株
株主数	4,360名

所有者別株式数の分布状況 (2023年9月30日現在)



株主メモ (2023年9月30日現在)

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
同連絡先	東京都府中市日鋼町1-1 Tel 0120-232-711(通話料無料)
同郵送先	〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
上場証券取引所	東京証券取引所(スタンダード市場)
公告の方法	電子公告により行う
公告掲載URL	https://www.dvx.jp/
(ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)	

- (ご注意) 1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっておりますので口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。